

教育施策の変遷とPISAの得点

学習指導要領	教育施策など
~1991年	1980年頃から「ゆとり教育」の流れが続く
92年	月1回、学校週5日制実施
95年	月2回、学校週5日制実施
98年	学習内容や授業時間を大幅に減らした次期学習指導要領公表
01年	
02年	文科相が学力向上策を訴えるアピール「学びのすすめ」を公表。新指導要領実施。完全学校週5日制実施
04年	PISAショック
05年	文科省が「ゆとり教育」の本格的な見直しに着手
07年	全国学力テスト開始
08年	主要教科の授業時間を1割以上増やした次期指導要領公表
09年	次期指導要領の算数・数学、理科を先行実施
10年	
11年	小学校で新指導要領の全面実施(中学校は12年度から)。小学1年生に35人学級導入
16年	中央教育審議会が20年度以降の次期指導要領の中間報告を公表。アクティブ・ラーニングを強調

PISA得点

■の数字は順位

➡は前回比

2000年調査

科学	550	2
数学	557	1
読解	522	8

03年調査

科学	548	2	➡
数学	534	6	⬇
読解	498	14	⬇

06年調査

科学	531	6	⬇
数学	523	10	⬇
読解	498	15	⬇

09年調査

科学	539	5	⬆
数学	529	9	⬆
読解	520	8	⬆

12年調査

科学	547	4	⬆
数学	536	7	⬆
読解	538	4	⬆

15年調査

科学	538	2	⬆
数学	532	5	⬆
読解	516	8	⬇

「ゆとり」転換のきっかけに

日本では1980年頃から小中学校で学習内容を徐々に減らす「ゆとり教育」が推進された。しかし、その

本格導入とほぼ同時期に学力の落ち込みが問題になった。PISAの2003年調査(04年公表)では、読解

力が前回の8位から14位、数学的応用力が1位から6位に低下し、教育界に「PISAショック」が広がった。06年調査では、さらに順位が下がり、「ゆとり教育」の見直しを進めていた文部

省は20年度以降に実施される次期学習指導要領でアクティブ・ラーニングを全教科で取り入れる方針だ。

科学省は08年の学習指導要領の改定で、小中学校とも主要教科の授業時間を1割以上増やした。また、07年から全国の小学6年生と中学3年生を対象に全国学力テストを実施し、PISAのように思考力や表現力を意識した問題も出している。その後の09年調査では、日本は読解力などの成績が向上。12年調査は全体的に回復傾向となり、15年調査でも理数系の分野は上位を維持した。